

# 自社のイノベーション活動の現状と 将来に向けての課題

2009年1月30日  
シャープ株式会社  
専務執行役員  
太田 賢司

# 目次

## 当社の概要

イノベーションと知財活動について  
イノベーションの段階展開  
当社の事業展開

## 研究開発から事業化への流れ

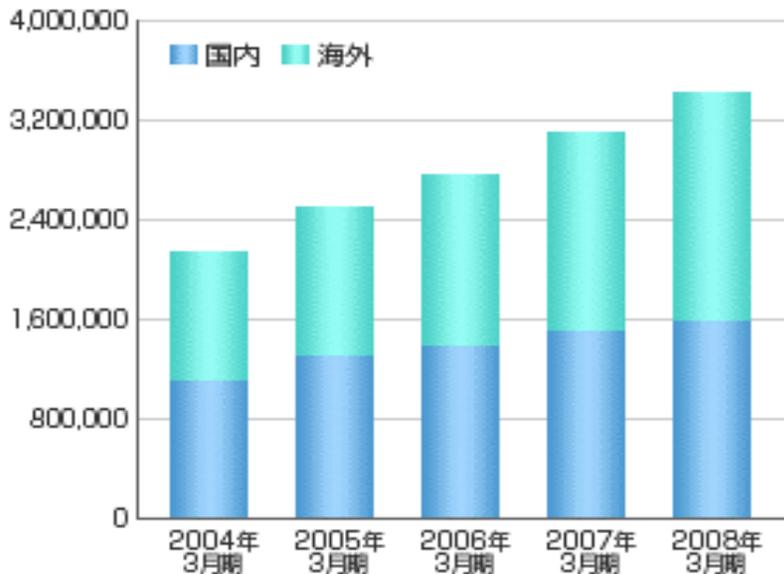
基礎研究から実用化開発・事業化への流れ  
競争の中でどう勝ち続けるか

- 液晶のスパイラル戦略
- 堺型新規プロジェクト
- 環境をベースとしたビジネスモデル

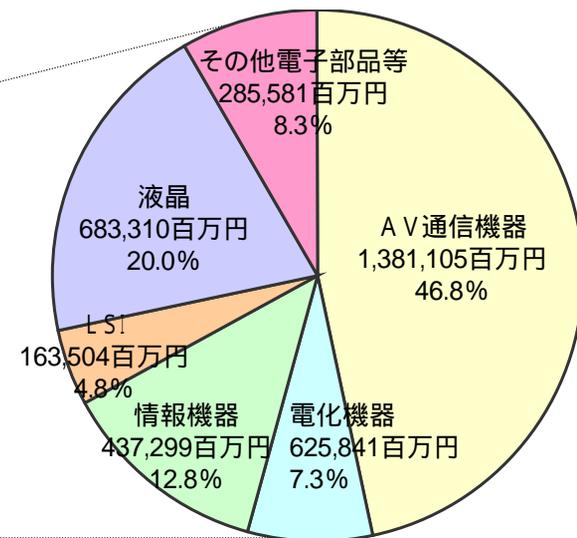
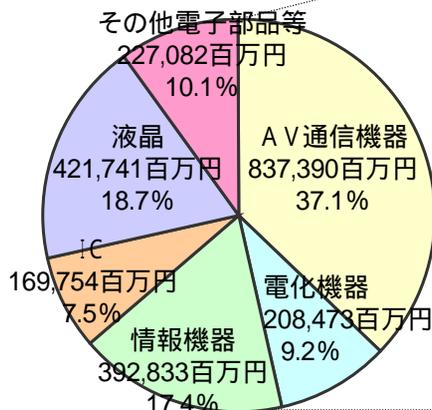
新たな知的財産の創造

当社の概要

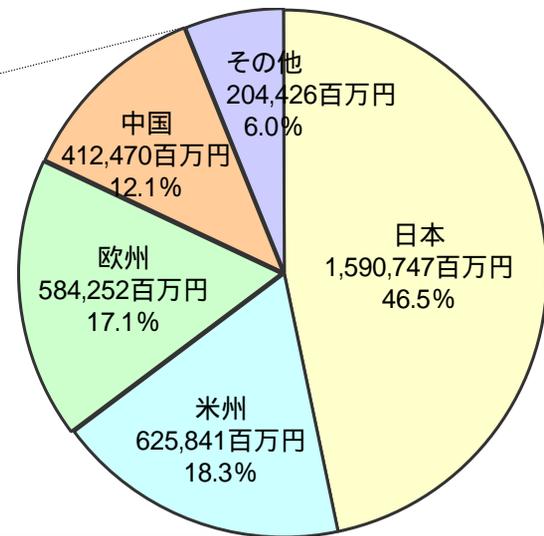
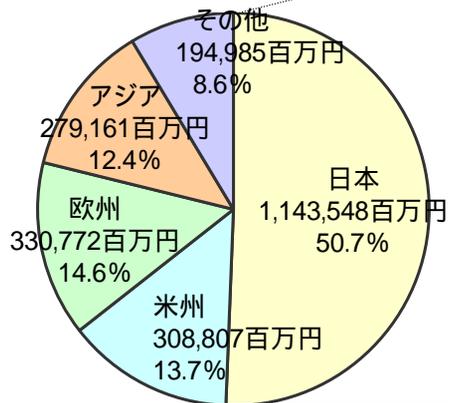
売上高(百万円)



連結部門別売上高構成比



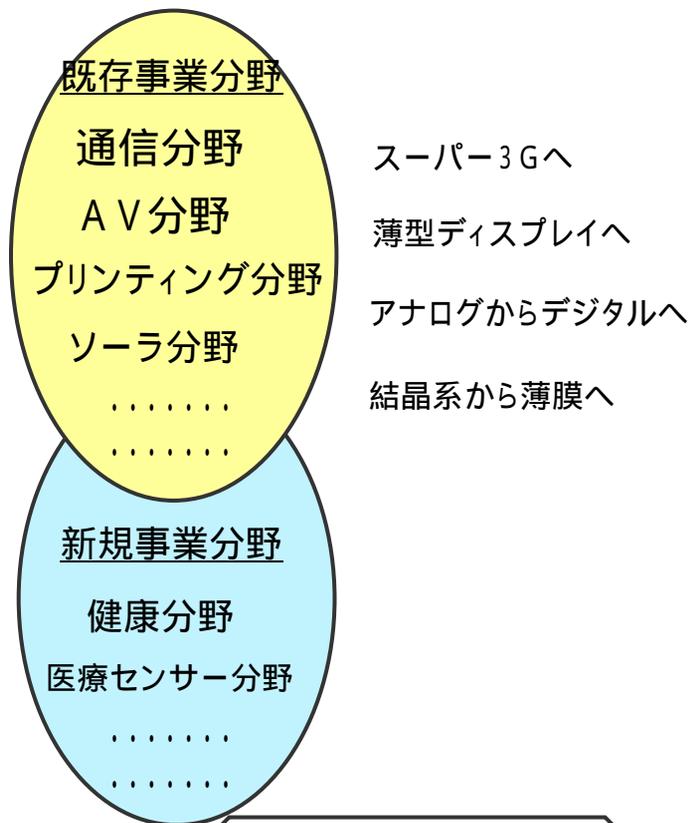
連結地域別売上高構成比



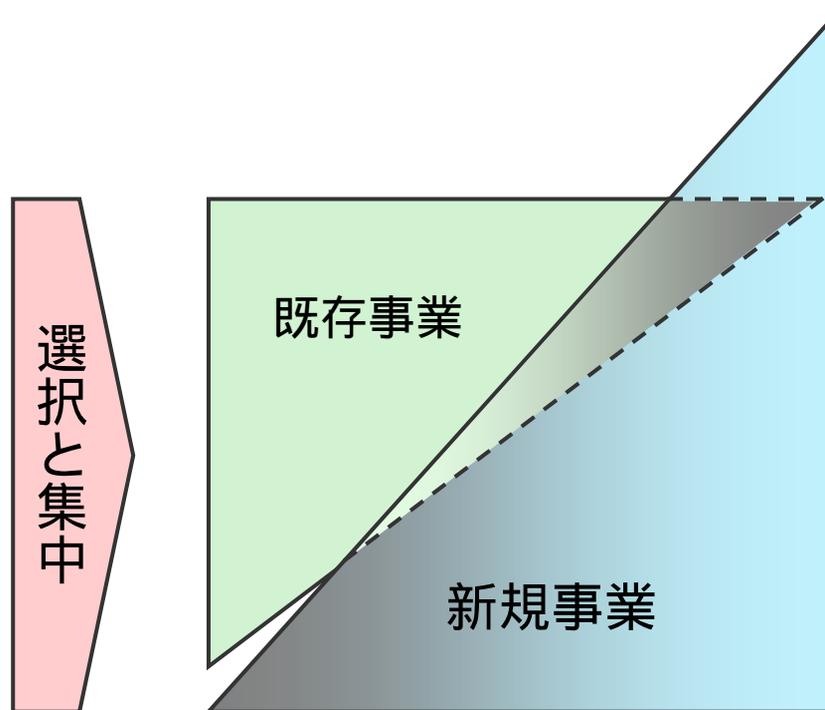
2004年3月期(2,257,273百万円) → 2008年3月期(3,417,736百万円)

## イノベーションの段階展開

### 【研究開発フェーズ】



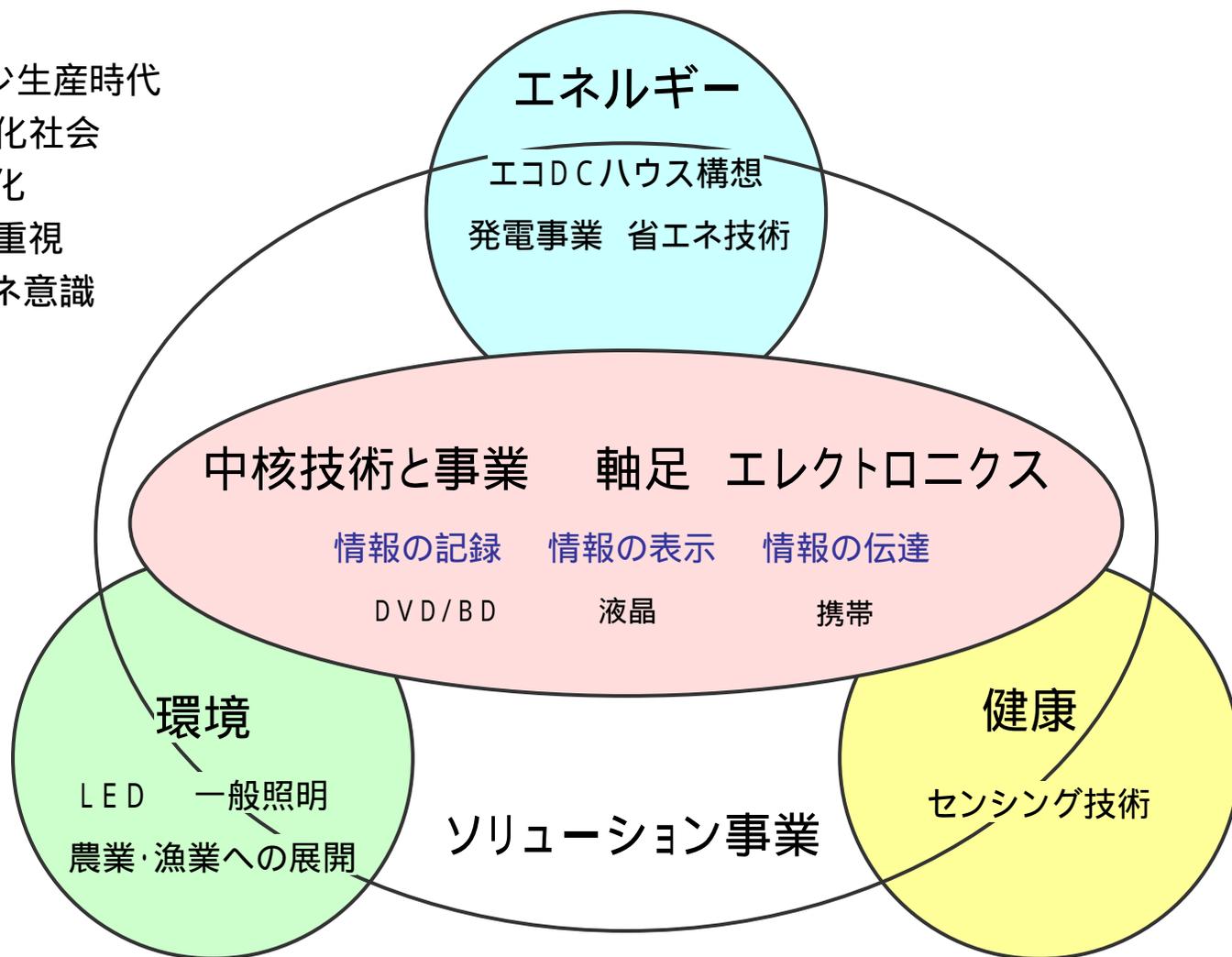
### 【事業化フェーズ】



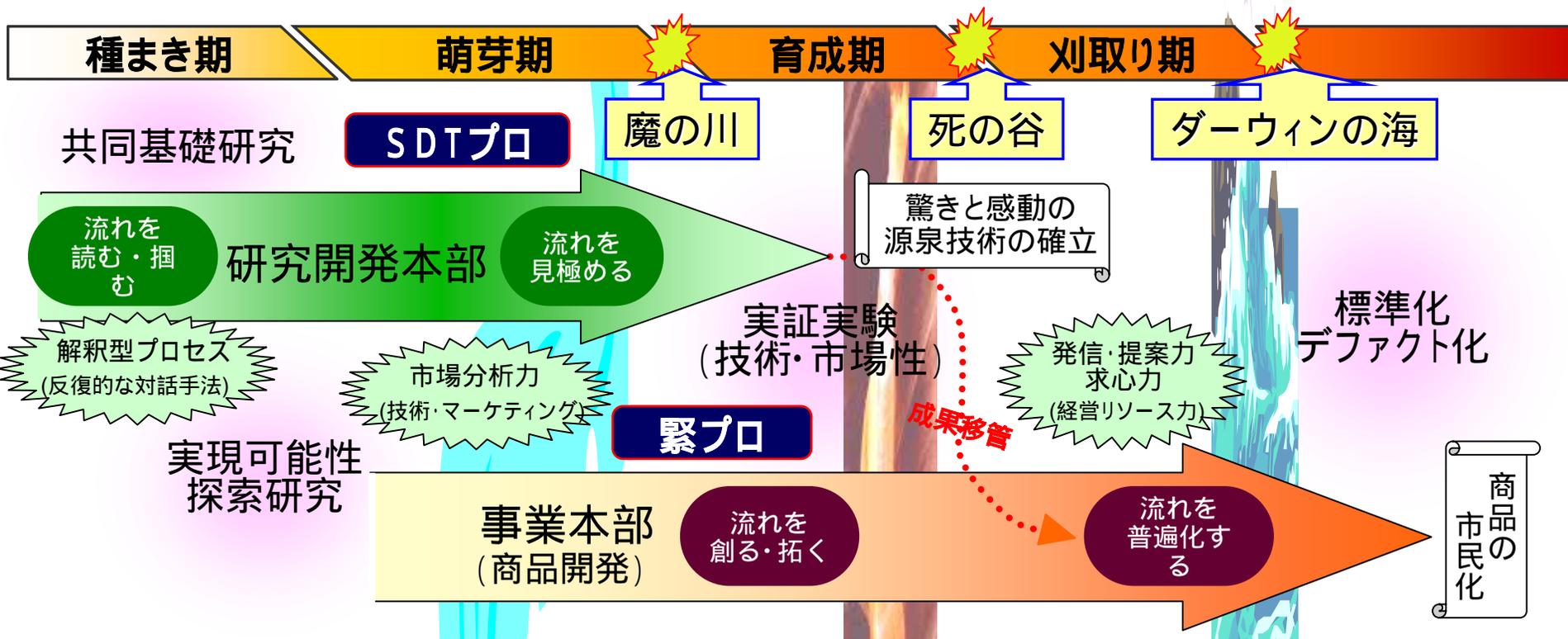
## 当社の事業展開

大量生産時代  
均一化社会  
一様な趣向

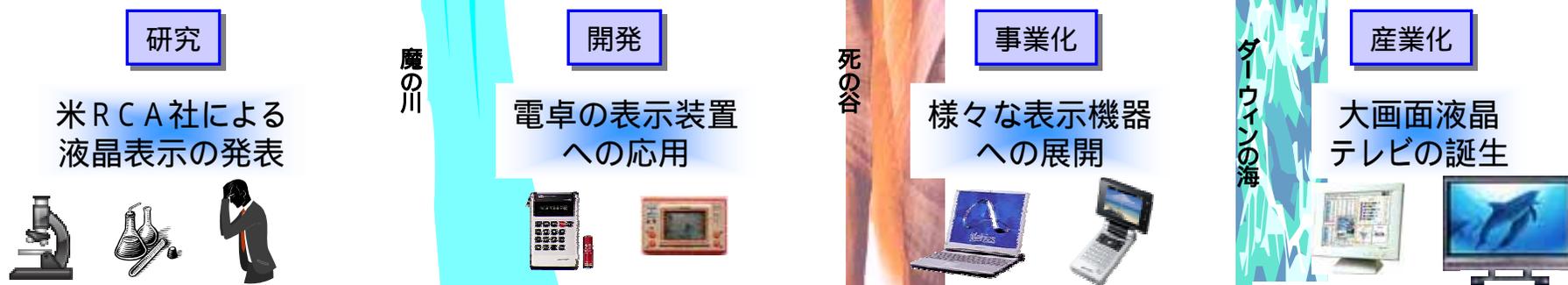
個別少生産時代  
異質化社会  
多様化  
健康重視  
省エネ意識



## 基礎研究から実用化開発・事業化への流れ



## 液晶事業との関連例



競争の中でどう勝ち続けるか

【対応策】

先行技術開発

先行投資

新たなビジネス改革

(事例)

液晶事業のスパイラル展開

堺型新規プロジェクト

環境をベースとしたビジネスモデル

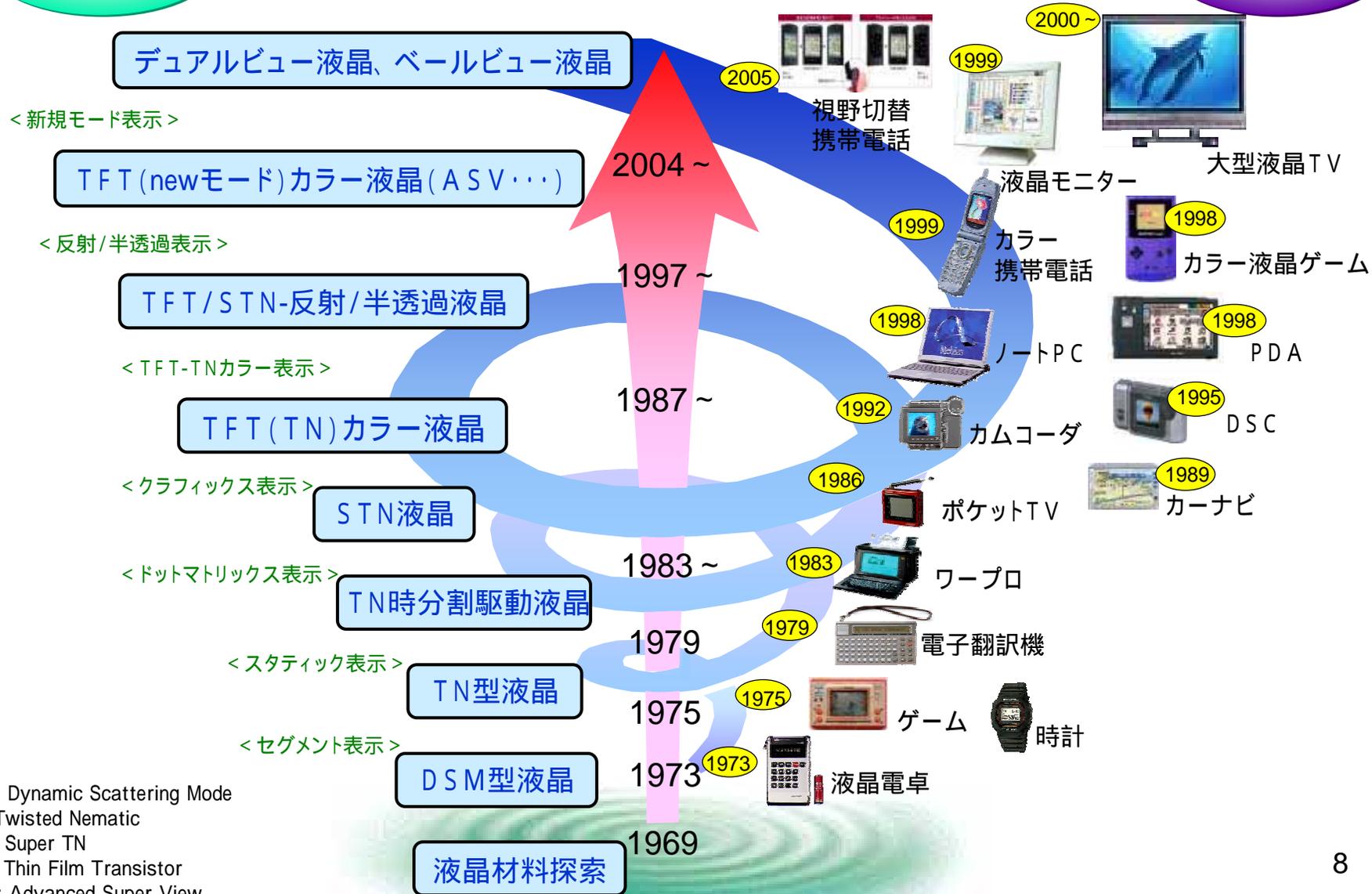
知的財産活動

標準化活動

## 液晶事業のスパイラル展開

液晶デバイス

応用商品



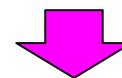
## 堺コンビナート建設

世界初となる第10世代のマザーガラスを採用する液晶パネル工場と、薄膜太陽電池を量産する太陽電池工場、及び関連企業を集結した『21世紀型コンビナート』。  
2010年3月の稼働を目指し、敷地面積は最大約127万m<sup>2</sup>と、三重・亀山工場の4倍程度になる見通し。



堺第7-3区太陽光発電所 (仮称)  
(最終完成予想図)

21世紀型コンビナートとは



業種・業態を越えた最先端の工場群

特長 垂直統合型の更なる深耕化

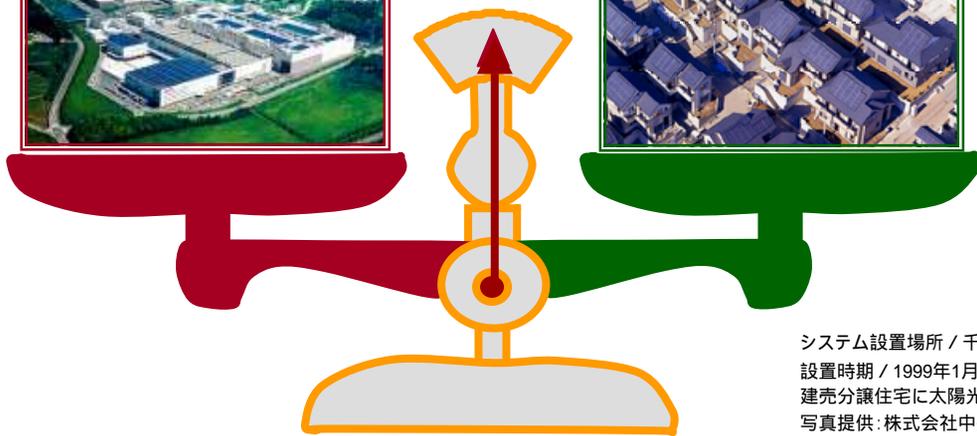
- ・関連のインフラ施設、部材、装置メーカーの工場を誘致
- ・原材料～完成品まで敷地内一貫生産

特長 薄膜技術の水平展開

- ・世界初、液晶パネルと薄膜太陽電池工場の併設

全世界の事業活動による  
温室効果ガス排出量

創エネ・省エネ商品による  
温室効果ガス削減量



2010年

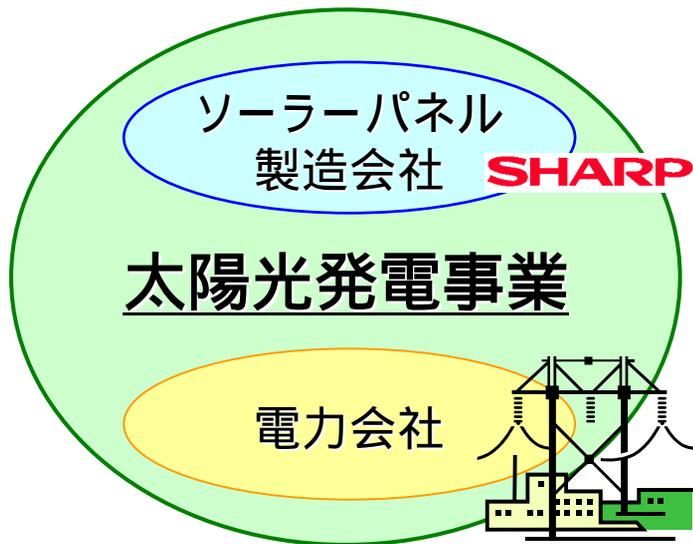
地球温暖化負荷ゼロ企業

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。



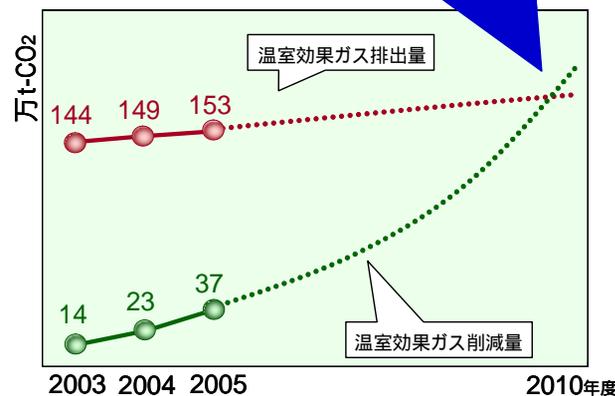
新たなビジネス事例

ソーラー事業を軸とした発電事業



システム設置場所 / 千葉県松戸市  
設置時期 / 1999年1月  
建売分譲住宅に太陽光発電システムを全戸標準装備  
写真提供: 株式会社中央住宅様

削減量が排出量を超える



## S D T (Sharp Dream Technology) プロジェクト

3～5年先の次期特長商品の創出に向け、技術課題や商品化リスクを見極めるためのプロジェクト制度(2002年9月スタート)

### 目 的

- ・ 中期的テーマ(3～5年先の事業化目標)の創出

### 狙 い

- ・ 早期開発 / 早期見極め
- ・ 新たな挑戦
- ・ 新規カテゴリー

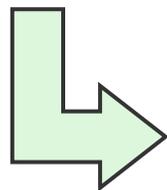
### 特 許 創 出

- ・ 早期段階での基本特許の取得および特許網の構築

## 事業展開での要求

・ユーザーの利便性の追及

いつでも どこでも だれとでも  
万人に共通の環境提供

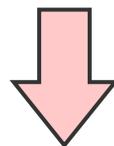


国際的な標準化の必要性

## 標準化と知財権の関係

知財権の独占と普及

一部権利者の独占が環境構築に阻害  
一方、環境づくりへの貢献企業への適正な  
開発費の還元での開発意欲



二律背反の課題を持ちながら

フェアな標準化確立への努力

## フェアな標準化に向けて知財面での課題

各国特許庁での審査基準の統一の促進

官民上げての技術開発の協力 産学連携

合理的なロイヤリティーの考え方